

知事賞受賞作品の概要

1. 広報紙部門

① 市部

広報さかい3月号(坂井市)

(概要)

特集「休校 明日への旅立ち 生まれ変わる竹田地区」

人口減少や高齢化が進む竹田地区。多くの葛藤を乗り越え「休校」を地元自らが願い出た現実。一方で、観光拠点としての可能性を見いだした住民の思い。それらを通して、地域に一番大切なものは何かについて考えてもらおうと編集。

(評価のポイント)

住民の苦渋の決断や母校への思い等が学校を支えてきた地域の人たちの声や昔の写真などを使って詳しく紹介されており、読み応えがある。

また、レイアウトも工夫されており、読みやすくなっている。



② 町部

広報わかさ7月号(若狭町)

(概要)

特集「水月湖の土は何を語る」

水月湖の海底には何万年分もの土の層が堆積しており、世界的にも珍しい。近年の気候や自然に何を感じるか、また、身近にありながら、見過ごしがちな貴重な湖の存在を改めて認識してもらおうと編集。

(評価のポイント)

エコという大きなテーマをこの地域の事象にしぼって紹介するとともに、地域住民が肌で感じている自然の変化を掲載することで、大問題を身近に感じられる素晴らしい作品である。



2. 写真部門

広報おおの8月号表紙(大野市)

(概要)

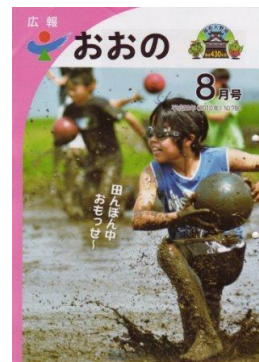
「田んぼん中おもっせ～」

大野市阪谷小学校のPTAが企画する恒例の学校行事「ドロリンピック」。高学年の子どもが、泥しぶきを上げながら元気よく走る姿を撮影。

(評価のポイント)

勢いよく飛び散る泥しぶきと児童の表情や体の動きから、躍動感あふれる写真となっている。

また、背景をぼかすことで主役が引き立ち、3つのボールの配置も良い。



3. 映像部門

スタジオあわら(あわら市)

(概要)

画像で伝える広報紙を目指し、制度等の説明や事業・イベントの報告、市内で活動する団体や人物を紹介するとともに、市が重点的に進める伝承料理を紹介。

(評価のポイント)

わかりやすく構成されていて、地域に根ざした番組として好感が持てる。